

地域から みる こども

錦田小地域学校協働本部 「錦田小 PTCA」

平成 27 年 10 月、PTA に地域社会 (Community) を加え、「PTCA」を組織。錦田地区に住むボランティアの皆さんは、主に登下校の見守り、花壇の整備、放課後学習支援に携わっている。



「子どもは地域で育てる」
こんなスローガンを体現し、市内の小・中学校で活躍する地域のボランティアの皆さんを紹介します。
また、活動を少しでも手伝っていただける方はぜひ、各小・中学校にお声掛けください。

- ①「参加したい♪」委員さんに参加してもらう
- ②一般の方にも参加してもらう（対象外の会もあり）

PTA は「やらされる」もの？

「自分の子が幸せになって欲しい」という親の想いは共通のもの。一方で PTA 活動は、地域の子ともども支えるもの。共働きの当たり前前の時代背景もあり、保護者の大半は「やらされるもの」という認識だと思えます。これは本質的なことです。」と語るのは三 P 連会長の山谷さんです。

今年の活動テーマは「わくわく」

「PTA 活動は何のためにあるのか、と考えて出た結論は『子どもの笑顔のため』。そのためには、子どもを支える親・先生自身が笑顔になることが大切。三 P 連の活動で、わくわくしてもらえようなしかけにチャレンジしています。」

そこで今年度は

例年、各校区の家
庭教育委員に参
加を依頼してい
る家庭教育委
員会の方法を
変更。保護者が
自分から参加した
くなる『自分たちも親
の立場として気になるテーマ』
を選定。これまでのべ 500
人以上が参加しています。

部活動 性教育
先生の役割
ネットトラブル
子どもは外で育つ？

三 P 連 (三島市 PTA 連 絡協議会) 役員 of 皆さん

市内 21 の公立小・中学校の PT(C)A (単 P) を繋ぎ、広く情報共有・活動するための組織。

右から佐野 (淳) 副会長、加藤副会長、山谷会長、大川副会長 (兼: 家庭教育委員長)、佐野 (巧) 副会長



家庭から みる こども

錦田小地域学校協働本部の皆さんが心がけているのは「無理せず、できる人がやる」こと。例えばスクールガードの幸田さんは習慣である散歩の時間を登下校に合わせることで見守り活動を行っています。

「ベスト（ユニホーム）を着て散歩するだけで少しでも役に立ってりゃあね。」

「錦田寺子屋」で講師を務める山田さんは、「児童も保護者も喜んでくれます。週に一度くらいは『宿題やったの?』なんて言わない家族団らんが提供できているかなと（笑）」

楽しみながら学校と関わっていく。そんなスタイルが根付きつつあるようです。

「楽しくなきや、続けらんないよね」

放課後学習支援 「錦田寺子屋」

各教科の理解度が開き始める3年生の希望者向けに週1回開講。復習や宿題の補助を行っており、児童・保護者・先生の三方の助けとなっている。



委員会活動支援 「花壇の整備補助」

児童が行う園芸委員会活動を補助。株分けや植え替えなど難しい作業を協働で行っている。2019年度フラワー・ブラボー・コンクール秋花壇で優秀校に選出された。



「子どものために」を応援する

「PRなど大変なこともありますが、結果的により多くの保護者や先生と一緒に考える機会を提供できていると思います。」

「やられる活動」ではない、親の「子どものために」を手助けするニP連。今年度最後に企画している第7回家庭教育委員会のテーマは「子どものネットトラブルを防ぐための3つの対策」。

子供にとっても便利なコミュニケーションツールである一方で、リスクも伴うSNS。保護者としてどう向き合えばいいか、また、そのための親子の対話の在り方について一緒に考えてみませんか。

結びに

取材する中で学校における地域の皆さんのチカラを強く感じました。今後の広報みしまでは、地域と学校の関わりをさらに紹介していければと考えています。

お近くの小・中学校の活動が取り上げられた際にはご一読いただき、「できること」に「楽しく」参加していただければ幸いです。

末筆ながら取材に協力いただいた皆さん、そして三島の子どもたちにお礼申し上げます。

聞いてみよう！

「楽しいコミュニケーション」を考えよう！「家庭での対話」編
～子どものネットトラブルを防ぐための3つの対策～

とき 12月14日(土)午後3時から
(午後2時30分受付開始)

場所 生涯学習センター3階講義室

講師 LINE 株式会社

主催 三島市PTA連絡協議会

申込 前日までに右のQRから

誰でも参加できます！

